特集1

第6回ウィズガス全国親子クッキングコンテスト 地区大会始まる

今年で6回目を迎える「ウィズガス全国親子クッキングコンテスト」の応募数が3万組を突破した。同コンテストは2007年にスタート。当初、2008組だった応募が、参加事業者の増加とともに拡大。今年も前回の約1.5倍に大幅に応募を伸ばした。事務局を務める日本ガス協会とコンテストに応募を伸ばしている地区大会の様子を紹介する。

定着した「親子クッキング」 夏休みの宿題で取り組む学校も

親子クッキングコンテストは97年、住宅産業団体連合会、キッチン・バス工業会、日本ガス石油機器工業会、日本ガス体エネルギー普及促進協議会（コラボ）により設立されたウィズガスCLUBの活動としてスタートした。

活動の狙いは、「家庭で調理する楽しさや楽しき」の普及を図ることだ。

地方部だより 北海道部会

本格的にLNG利用環境整う
石狩LNG基地の運転開始で

北海道ガスの石狩LNG基地が12月に営業運転を開始する。同基地で受け入れる天然ガスは、北海道ガスがこれまでLNGは、北海道ガスが使用する石狩工場(民)ライターへの供給が進む、天然ガスへの転換が進む、天然ガスの安定供給を考え非常に大きなものである。

こうした中、北海道ガスは天然ガスの安定供給を草期に実現するため、引き続きタンクの増設、石狩LNGの容量7万kL、地上式では国内最大級だ。札幌市の家庭用都市ガス需要の4年分、旭川市ガス需要の2年分に相当する容量を確保する。

ソーラスの工場化北道なお、北海道ガスはこれまでの、ガスの安定供給を考えるとき、道内全域を視野に入れ、石狩LNG基地の天然ガスはパイプラインで札幌を中心とした道央圏に送る。北海道ガスは現在、道央圏の豊富な石油資源開発の勇払沖からの天然ガスをパイプラインで受けている。石狩湾新港地域は道央圏の北の拠点となり、供給量の増加を見込んでいる。

梁瀬委員

北海道ガスは現在、用途別に、工場向け、商業・業務用向け、家庭用向けに分けて、ガスを供給している。今後は道内の発電所向けなど、大口の供給を目指す。

北海道ガスは、ガスの安定供給を考え、北海道内の石油資源開発の勇払沖からの天然ガスをパイプラインで受けている。石狩湾新港地域は道央圏の北の拠点となり、供給量の増加を見込んでいる。

ホテルニューオータニ(東京都千代田区)

ガスの燈のある街

紀尾井町にあるホテルニューオータニ。地名は江戸時代、このあたりに紀伊徳川家、尾張徳川家、井伊家の屋敷があったことから、一字ずつとってつけられました。9灯式の豪華なガス燈は、イチョウ並木の紀尾井坂を上りきったホテル正面入口にあります。開業25周年を記念して1989年に東京ガスより寄贈されました。

撮影:川村典幸

10月7日には第1船を受け入れた

厚真発電所(苫小牧市)は、石炭火力発電所。ボイラーの燃焼方式は、石炭を微粉状にして吹き込む方式。ボイラーの燃焼方式は、石炭を微粉状にして吹き込む方式。

大塚委員

厚真発電所は、石炭火力発電所。ボイラーの燃焼方式は、石炭を微粉状にして吹き込む方式。

地震災害訓練の様子

前野マネージャー

保安活動報告 保安向上への取り組み 日本ガス

早朝地震訓練を実施
業務用厨房メンテで成果

池田取締役

西田マネージャー

回転釜のメンテ

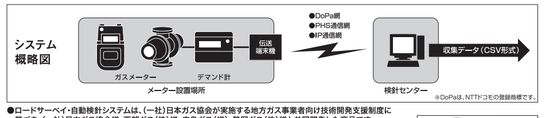
土谷委員

azbil

2012年度 日本ガス協会技術大賞

エネルギー需要動向を遠隔監視
IP方式対応 ロードサーベイ・自動検針システム

過剰な消費やムダ使いはアウト。時代は着実に、エネルギーの使い方を的確に分析して、いかに抑制するかという方向をめざしています。ロードサーベイ・自動検針システムは、24時間の遠隔監視を通じて、エネルギーの需要動向を探る汎用性の高いトータルシステム。IP方式による各種通信網に対応したシステムを実現します。収集データはCSV形式のファイル化に対応。業務の効率化や環境負荷の軽減など、お客様へのさまざまな提案を可能にします。私たちはこれからも、日々技術に磨きをかけながら、時代のニーズを満たす新たな価値創造をめざします。



●ロードサーベイ・自動検針システムは、(一社)日本ガス協会が実施する地方ガス事業者向け技術開発支援制度に基づき、(一社)日本ガス協会様、西部ガス(株)様、広島ガス(株)、静岡ガス(株)様と共同開発した商品です。

アズビル 金門株式会社 http://ak.azbil.com/
本社事務所/〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-14-3 Tel.03-5980-3732 Fax.03-5980-3754

JSA JQA-EM5515 登録番号 JSAE019 本社事務所・大阪工場・東京研究室
JAB EMS Accreditation 認定番号 REC005
アズビル金門はISO14001の認証を取得しております。

特集 Eco-friendly Feature

ガスによる省エネで環境性、高い耐震性を実現
日本ガス協会ビルが竣工

自然光を効率的に取り入れた設計

新しい日本ガス協会ビル(東京都港区)が10月31日に竣工した。ガスコージェネレーションやLED、吸収式冷温水機など最新の高機能ガス設備を採用し、一部を太陽光や太陽熱など自然エネルギーを積極的に利用するハイブリッド設備にして、高い環境性能を実現。さらに最新の耐震技術により、阪神淡路大震災クラスの地震に見舞われても事業継続が可能なレベルの耐震性能となっている。

旧月寒ガスビルは1966年(昭和41)年3月竣工。地上9階建、地下1階建で、延べ床面積1万2,000㎡。地下2階建ての部分を除いた、地上9階建ての建物。地下1階建ての部分は地上1階建ての建物。

ガスによる省エネで環境性、高い耐震性を実現

ガスと自然エネルギーを生かした環境設備

都市ガス業務用空調のお部屋にふさわしく、ソーラークリーディング用ガス吸収冷温水機1基、冷温水機(冷房用)1基、16馬力ガス焚き温水機1基、25馬力ガス焚きRGHP、25馬力ガスエンジンコージェネ冷・暖房ガス設備を多数設置した。

ソーラークリーディングは太陽熱パネルガス吸収冷温水機を組み合わせたシステム。太陽熱パネルは、温水を作り、吸収冷温水機に投入し、冷房用に使用する。ガス焚きRGHPは、冷房用に30馬力、暖房用に25馬力。ガス焚き吸収冷温水機が温水パネルと組み合わせて採用された。

吸収冷温水機は、冷房用冷温水機1基、冷温水用50RTが設置されている。吸収冷温水機本体に冷温水ポンプ(冷温水・冷却水)、冷却水配管を一体化し、省スペースを実現した。

16馬力GHPの1基は、発電機能を持つハイパワーエクセルガイドに、太陽光発電パネルを組み合わせたソーラーリンクエクセルガイドは、ハイパワーエクセルガイドは、空調負荷に応じて発電量を変動する。一方、太陽光パネルで発電する電力量は、天候に応じて変動するが、専用の変動インバーターで統合制御することで相互補完し、電力の安定供給など、省エネ効果の向上を図る。

屋上には最新ガス設備や太陽光パネルが並ぶ

コージェネ・ガスエンジンは、25馬力マイクロコージェネ(ライト)の停電対応仕様。

ガスコージェネ(ライト)は、停電対応仕様。

さらに、25馬力マイクロコージェネ(ライト)は、停電対応仕様。

屋上には最新ガス設備や太陽光パネルが並ぶ。

屋上には、ガスコージェネ(ライト)、ガスエンジンコージェネ、ガスエンジンコージェネ(ライト)、ガスエンジンコージェネ(ライト)、ガスエンジンコージェネ(ライト)